

事例に学ぶ 事業引継ぎ

後編

経営者の高齢化や後継者不足など、自社の将来に直結する事業の引継ぎに関する課題を抱える企業が増えていきます。解決を先送りにしてしまうと、経営の悪化や技術・雇用の喪失につながり、結果として廃業ということになりかねません。

こうした課題に対して、「京都府事業引継ぎ支援センター」の支援を受け、うまく事業を引き継ぐことができた2つ目の事例をご紹介します。



コンセプトと思いに共感する お客様へ事業をバトンプラス

【Pleasure】 プレジャー

人気のロックバンド「B'z」ファンの集いをコンセプトにしたバー『Pleasure』を、8年間にわたって経営してきた松本弘さん。これまで作り上げてきた店のコンセプトを大切に、思いに共感できる人に店を譲りたい…。そんな中で池元一敦さんと出会い、「京都府事業引継ぎ支援センター」のサポートにより、事業譲渡への取り組みが始まった。

**店を作る空気感と
価値ある資産とを
創業者の思いと共に承継**

松本さんが四条烏丸のほど近くに「同じ趣味を持った仲間が気軽に交流できる場所になれば」とコンセプトバーを立ち上げたのは2012年のこと。曲や歌詞をイメージしたオリジナルカクテルは人気が高く、SNSのフォロワー数も多い。B'z

ファンだけでなく、全国から音楽好きのお客様が大勢訪れる。



松本弘さん

結婚して子どもが生まれたのをきっかけに、「地方に移住して、家族との時間をゆっくり過ごしたい」と考えるようになった」と松本さん。当初は人を雇って店を任せることも考えたが、なかなか店のコンセプトに合う候補は見つからず、改めて事業譲渡を視野に入れるようになったという。2019年8月、古くからの顔なじみのお客様で、店の



池元一敦さん

繁忙期にカクテルづくりなど接客サポートをしてくれたこともある池元さんに声をかけたところ、「ぜひ引き継ぎたい」と話がまとまった。池元さん自身、飲食店に勤めていた経験があり、ちょうど独立を志向していたタイミングと重なったことも後押しとなった。

事業譲渡にあたって、Pleasureという名前はもちろん、アルコール類やグラス類、店を彩るギターや音楽プレーヤー、SNSのフォロワーなどすべてを引き継いでもらうことが条件だったが、「店の空気感を作り上げているそれら一つひとつの資産を含めて、前オーナーの思いを承継できればと思った」と池元さんは振り返る。

手続きと手順を明らかにし 短期間でスムーズな 事業譲渡を実現

2019年10月、松本さんは、以前から経営相談で利用していた京都商工会議所を通して、「京都府事業引継ぎ支援センター」の窓口を訪れた。譲渡相手やおおよその譲渡金額は決まっていたが、「公的な機関に支援してもらおうことで、余計なトラブルを防ぎたい」と考えたという。

経験豊富な専門家が双方に寄り添い、譲渡までのロードマップを明らかにし、手続きや手順についてアドバイスをを行った。飲食店の経営に必要な資格取得や許認可の申請など、「今、何を優先して取り組むべきかが分かった」と池元さん。譲渡にかかる資金調達についても、専門家のサポートで金融機関との橋渡しが行われ、スムーズに進めることができたと話す。また、松本さんも池元さんと一緒にバーのカウンターに立ち、数ヶ月の間、お客様への紹介と引継ぎのフォローを行った。

2020年2月末、本センターの取り組みが始まってわずか4ヶ月



事業譲渡式で笑顔を見せるお二人と、京都府事業引継ぎ支援センターのメンバー

足らずで事業譲渡が完了し、京都商工会議所で譲渡式が無事に執り行われた。「家族の夢に向かって、新たなステップを踏み出すことができた」と松本さんは笑みをこぼす。

Pleasureでは今、池元さんが一人でカウンターに立ってお客様を迎えている。池元さんが創作し、曲名などを模したオリジナルカクテルが好評を得ているほか、テキーラマエストロ、ラムコンシエルジュなどの資格を生かしたスピリッツ(蒸留酒)の種類も増え、Bzを中心としたコンセプトや雰囲気はそのままだ、店は徐々に池元さんのカラーに染まり始めている。

ダウンライトに照らされ、きらきらと輝くクリスタルグラスの向こうには、いつもの曲といつもの笑顔があふれている。



Pleasure

代表者/池元一敦
住所/京都市中京区蛸薬師麴屋町西入油屋町145
洋燈館ビル3F
事業内容/コンセプトバー
創業/2012年
従業員数/1人

事業引継ぎに関するご相談は、
京都府事業引継ぎ支援センターへ!!
TEL:075-353-7120